

●出会いと旅立ち春爛漫のシンフォニー

●春風に揺れる多彩な桜の饗宴、色とりどりの花巡り

春の訪れとともに、古河公方公園は美しい桜の花で彩られます。公園内には約150本の桜が点在し、訪れる人々の目を楽しませてくれます。最も多く植えられているのは、代表的な桜である①ソメイヨシノです。薄紅色の花が一斉に咲き誇り景色を華やかに染め上げます。ソメイヨシノ以外にも、公園ではさまざまな種類の桜を楽しむことができます。春の初めに濃いピンクの花を咲かせる②寒緋桜や、彼岸の頃に花開く③彼岸桜、自然の風情を感じさせる④山桜、優雅に枝を垂らす⑤枝垂桜など、種類ごとに異なる表情が魅力です。さらに、⑥八重桜のようなボリュームのある花や、⑦上溝桜、⑧犬桜といった品種も見ることができます。桜の種類によって開花時期が少しずつ異なるため、3月下旬から4月中旬にかけて長く花見を楽しめるのも古河公方公園の魅力です。風に揺れる桜並木を歩けば、春の訪れを存分に感じられることでしょう。



⑤ 枝垂桜

●公園名所案内 「⑨雪華園」乾坤八相の庭 その魅力と哲学

この庭園は景観学の権威である中村良夫氏によって設計され、古河藩主・土井利位が著した「雪華図説」に由来し、公園の設計哲学を表したものとして整備されました。この庭園は、「乾坤八相の庭」とも呼ばれ、人と自然の関わりを八つの視点で表現しています。簡単に説明しますと、第1景「復元の景」失われた自然を再生した御所沼を指し、歴史的空間を追体験できる場となっています。第2景「自然の保護景」古河公方館跡の森や雑木林を含み、子どもたちが虫取りを楽しめる親しみやすい自然が残されています。第3景「農の景」田畑や茶畑など、日本人の原風景を象徴する農の景観が広がっています。第4景「園芸の景」人の手によって形づくられた庭園美を表し、雪華園の松などがその象徴です。第5景「自然への対峙景」天神橋や片岡崩しの庭など、人が自然の中で造り出した構造物を示します。第6景「自然の侵犯景」遺跡が草木に覆われるように、自然が人の営みを飲み込んでいく様子表現しています。第7景「詩的感興の景」地名をつけることで風景に物語が生まれ、新たな意味を持つ景観となります。第8景「虚像の景」建築（ジェラテリア）に映る風景は、変幻自在する自然を表す象徴となっています。

●4月の花のご紹介 ⑩ナノハナ ⑪タンポポ ⑫タチツボスミレ

⑩アブラナ科の植物で畑や河川敷に群生し、春の訪れを象徴する黄色い花。
 ⑪道端で見られる黄色い花。綿毛が風に乗って飛ぶ姿は春の風物詩です。日本在来種と外来種があります。
 ⑫野山や公園の片隅で見られる多年草、うす紫色の花は、小さくも凛とした姿で、春の訪れを感じさせます。



⑩ナノハナ



⑪タンポポ



⑫タチツボスミレ



4月の鳥【 カシラダカ 】

スズメ目ホオジロ科に分類され、体長は15cmとスズメと同じくらいの大さきの野鳥です。見た目もスズメとよく似た羽の色をしていますが、後頭部に短い冠羽（頭部などに見られる長く伸びた羽）が特徴です。興奮するとこの冠羽を立たせる習性から、「頭が高くなる」という意味で「カシラダカ」という和名がつけました。ユーラシア大陸北部の森林地帯に広く分布し、そこで繁殖します。日本には冬鳥として飛来し、主に積雪の少ない地域で越冬します。平地や農耕地、草地、林縁などで群れを作りながら生活し、地面で採食することが多いのも特徴です。冬の間はホオジロやアオジなどの小鳥と一緒に行動することもあり、5月ごろまで観察できます。



★カシラダカ

★古河公方公園公式アカウントを開設しました！

是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。

- Instagram @koga_kubou
- X (旧 Twitter) @kubou_park

Instagramアカウント



X (旧Twitter) アカウント

